

# 令和2年7月（第3回）教育委員会 議事録

## 1 開会及び閉会の日時

令和2年7月10日（金）午後2時～午後4時10分

## 2 場所

本庁舎 別館 大ホール

## 3 出席委員

- ・教育長 松本 謙一
- ・同職務代理者 林 紀孝
- ・教育委員 水上 和夫
- ・教育委員 竹部 俊恵
- ・教育委員 高坂 真理

## 4 説明出席者

- ・教育委員会教育部長 村上 紀道
- ・教育部次長生涯学習スポーツ課長 鵜野 幸男
- ・教育総務課長 氏家 智伸
- ・こども課長 溝口 早苗
- ・中央図書館長 安川 絹枝
- ・福光福祉会館長 鳥越 知証
- ・文化・世界遺産課長 長岡 芳典
- ・教育センター所長 瀬戸 広美
- ・教育総務課副参事 高田 公美
- ・教育総務課主幹 川口 雅也
- ・教育総務課主幹 保市のり子
- ・教育総務課主事 村上 千明

## 5 傍聴者

2名

## 6 会議の要旨

午後2時、教育長が開会を宣し、議事に入る。

### 1 教育長の報告

教育長が出席した会議・行事について概要説明があった。

### 2 前回議事録の承認

全員異議なく承認した。

### 3 協議事項

- (1) 富山県市町村教育委員会連合会理事の選出について  
教育総務課長から説明した。
- (2) 南砺市文化芸術振興実施計画策定委員会委員の推薦について  
教育総務課長から説明した。
- (3) 南砺市立学校設置条例の一部改正について  
教育総務課長から説明した。
- (4) (仮称) 井口地域義務教育学校の募集について  
教育総務課長から説明した。議事録の3ページ～7ページのとおり意見が付された。
- (5) 南砺市要保護及び準要保護児童生徒就学援助支給要綱の一部改正について  
教育総務課長から説明した。
- (6) 南砺市立学校管理規則の一部改正について  
教育総務課長から説明した。
- (7) 南砺市立学校のあり方検討委員会設置要綱の制定について

教育総務課長から説明した。

- (8) 南砺ひとり親世帯臨時特別給付金実施要綱の制定について  
こども課長から説明した。議事録の7ページのとおり意見が付された。
- (9) 南砺子育て応援入学・卒業祝い金支援要綱の一部改正について  
こども課長から説明した。
- (10) 南砺市臨時保育室設置事業実施要綱の一部改正について  
こども課長から説明した。
- (11) 南砺市ファミリーサポート・センター事業実施要綱の一部改正について  
こども課長から説明した。
- (12) 利賀地域長期山村留学の開始について  
教育総務課長から説明した。議事録の7ページ～8ページのとおり意見が付された。

#### 4 報告事項

- (1) ふるさと教育推進事業について  
教育総務課長から説明した。議事録の8ページのとおり意見が付された。
- (2) 令和元・2年度（残任期間1年）南砺市社会教育委員の任命について  
生涯学習スポーツ課長から説明した。
- (3) 夏季教職員研修実施要項について  
教育センター所長から説明した。
- (4) コロナウイルス感染第2波へのICT対応の方向性  
教育センター所長から説明した。
- (5) 南砺市子ども読書活動推進計画（第3次）の進捗状況について  
中央図書館長から説明した。
- (6) 貸出サービスの拡充について  
中央図書館長から説明した。議事録の8ページのとおり意見が付された。

#### 5 その他

- (1) 学校・保育園訪問を終えて  
各教育委員から報告した。議事録の8ページ～10ページのとおり意見が付された。
- (2) 南砺市立図書館の7月の事業について  
中央図書館長から説明した。
- (3) 令和2年度松村謙三関係事業について  
福光福社会館長から説明した。
- (4) 子どもの権利条例制定事業について  
こども課長から説明した。

#### 6 今後の日程

次回教育委員会開催（予定）

日時 令和2年8月12日（水）午後2時

場所 本庁舎 別館 大ホール

#### 7 議事

## 協議事項について

### 協議事項（４）関係

- 教 育 委 員 井口地域義務教育学校の募集について、教育委員会で協議したか。修正がかかって資料として出てきているが、原案自体を初めて見たような気がする。
- 事 務 局 昨年度の時点で、協議会での協議の内容はお伝えしている。
- 教 育 委 員 井口地域義務教育学校だけではなく南砺市全体に大きな影響を及ぼすことなので、きちんと教育委員会で前の段階から協議させていただきたかった。決定してからの報告は納得し難い。
- 教 育 長 申し訳ございません。協議会の前に、教育委員会できちんと協議するべきだった。
- 教 育 委 員 次に内容について。各学年の定員を13人として来年度に向けて募集をかけるわけだが、定員が達しなかった場合については毎年募集をかけることになっている。現在井口で来年小学校に入学する子どもは6人程度であり、13人集まる学年は多くないと感じていて、その場合毎年募集をかけることになる。南砺市全体で子供が減っている現在、他の地域の学校も2クラスが1クラスになったり、複式学級になったりする可能性も出てくる中で、なぜ井口だけが募集をかけられるのか。井口にとっては良いことだが、他の地域の学校も同じように子供が減って学級が維持できない、複式になるかもしれないということに対して、何か配慮はあるのか。
- 教 育 委 員 井口地域義務教育学校に入学するかどうかの調査を行うとある。現在は、子供たちが就学する学校は教育委員会から通知するかたちだが、井口義務教育学校に入学するかどうかの調査は、井口のみ、つまり特認校だけで行われるのか。井口だけで調査が認められるのは不公平なのではないかという意見もある中で、井口の義務教育学校というよりは、井口にある南砺市の義務教育学校という考え方でそのように進めていくのか。
- 教 育 委 員 井口の子どもは小学校に入学する時に他の学校を選べるが、他の地域の子どもは井口だけは選べるが井口以外の学校は選べないことになる。井口の義務教育学校が調査を行うのであれば、他の学校でも調査しないと不公平な気がする。
- 事 務 局 まず、他の学校で学級数が減ったり複式になったりする可能性については、もちろん学級数が減る可能性はあるが、複式になる可能性は今のところはない。しかし、他の学校への影響がある場合もあるのでその時は、南砺市の単独予算を使

ってでも、学級数が減っても教員の数を減らさないというよ  
うな配慮はしていきたい。

次に、本来なら就学する学校を教育委員会が指定するが、  
南砺市の特認校として他の学校を選ぶことを認めるというこ  
と。それから井口だけ特別扱いはせずに全ての子どもに同じ  
ような権利を与えるべきではないかということについてはお  
っしゃるとおりだが、井口の義務教育学校は南砺市でも初め  
での取り組みとなる。南砺市の新しい教育改革の中でのモデ  
ルケースとして、まずは井口に限って先に進めさせていただ  
きたい。そのあとは、地域の方々や保護者の方々が他の学校  
も特認校にしたいということになればそうなる可能性もあ  
る。その場合、どれくらいまで認めるかということを整理す  
るためにはまだしばらく時間が必要だと思っている。南砺市  
としてはまず、モデル校としての井口地域義務教育学校とい  
う考え方で先行して実証させていただきたい。先に進めるこ  
とで公平性が保たれないという考えもあるかと思うが、どの  
ような事業でも先進的な取り組みやモデル事業があるよう  
に、先に進めることは悪くはない進め方だと思っている。

- 教 育 委 員 員 確認ですが、義務教育学校になったら特認校になるのか。  
それとも義務教育学校にならなくても特認校になるのか。
- 教 育 長 義務教育学校にならなくても特認校になる。義務教育学校  
になる、ならないと特認校になる、ならないは別の話。
- 教 育 委 員 員 特認校にしても通うには遠く、送迎のことも考えると保護  
者への負担が大きい。あと1つは、定員は13人で新1年生  
や複式になるところで募集をかけるのは理解できるが、毎年  
9学年全部で募集をかけるのはどうなのか。他の学校は子ど  
もたちが減っていくことに不安になるのではないか。
- 教 育 長 おっしゃるとおり保護者の負担は大きくなるので、応募は  
そこまで多くないのではないかと思っている。募集につい  
ては、13人に達したところは募集せず、達していないところ  
は募集をかけることを考えている。他の学校も子どもたちが  
減らないように色々と考えている。
- 教 育 委 員 員 なんのために井口に13人集めなければならないのか。
- 教 育 長 集めなければならないということではない。これからそれ  
ぞれの学校も地域と密着して様々な教育をしていくと多様性  
が生まれてくるだろう。そうした時に、違うところに行きた  
いという子どもが出たときに受け入れられる受け皿をつくっ  
ておかなければならない。将来全ての学校が特認校になる可  
能性もあると思っている。
- 教 育 委 員 員 井口にとっては良い。他の学校への影響はどうか。

- 事務局 13人集めるために毎年募集をかけるという意味もあるが、一方では、例えば20人、25人来たくても13人で止めるという意味もある。教室は小規模な学校なので16人の教室。他の周辺の地域への影響も考えて、16人は良くないということで13人と決まった。特認校制度や就学の指定のことについては大きな改革の中での問題なので、全て一度に実施することができれば良いが難しい。先ほども言ったが、南砺市で初めての義務教育学校ということで、井口地域の義務教育学校ではなく、井口地域に所在のある南砺市の義務教育学校という考え方で、先進的な取り組みも含めてスタートさせていただきたい。その取り組みが他の学校と違うということは、おっしゃるとおり事実。しかし、井口に導入する仕組みや特認校制度を全ての学校で同時に取り入れるということになると、相当な時間を要する。将来的にはそうなるかもしれないが、スタートとして井口で進めていきたいと考えている。
- 教 育 長 例えば、1人が井口に行ったことで2クラスが1クラスになる可能性を委員さんは気にしておられると思う。1クラスになったところには県から1人教員が配置される。もし県から教員が配置されなくても、南砺市単独でも講師をつけて人数が減っても2クラスでやれるような配慮をしていきたい。
- 教 育 委 員 井口にある義務教育学校という考え方からすれば、他の学校とは若干違うが、むしろそういう違いを見せながらモデル校としてスタートしたいということですね。
- 教 育 長 そういうこと。将来的に考えたときに、例えば他の学校に行きたいという子どもたちがいれば認めていかなければならないと思い、このような方向性を示した。
- 教 育 委 員 新しいことを始めるわけなので、当然苦しいこともあれば、なかなか周りの賛同を得られないこともあると思う。その中で、なんとかして成功させるという強い思いが必要。13人集まらないだろうという声も聞こえてくるが、最初から13人集めてほしいと思う。最初から全学年が13人でスタートさせるという意志を持ってほしい。この案件については様々な意見があり意気消沈する部分もあるだろうと正直感じている。上手くいかないことも当然あると思うが応援していきたい。想いは強くもってスタートしてほしい。
- 教 育 委 員 この義務教育学校の在り方については、これからの南砺市の教育の将来的な展望を見据えての計画なので、井口に子どもが集中する、しないは今はまだ見えてこないが、将来的に

他の学校も井口に影響された上で、地域の支えを受けながら、充実した教育を受けられる学校を作っていければ良いと思う。

○教 育 委 員 現在7月で着々と準備が進んでいるが、この後の7月から来年3月、4月までの計画を分かる範囲で教えていただきたい。

○事 務 局 10月頃に説明会を井口以外の地域で行い、その後問い合わせ等を教育総務課で受けて、11月いっぱいくらいで募集をかけていきたい。

○教 育 委 員 他の地域での説明会というのは、全ての地域で説明会をするのか。

○事 務 局 どこか1箇所を考えている。

○教 育 委 員 大変だとは思いますが、初年度なので1箇所だけではなく時間をかけて説明されたほうが良い。

○事 務 局 学校設置条例が継続審査になっているので、これを9月の定例会で認めていただければ義務教育学校は設置できない。募集も開始できない。よって、認めていただけた場合はその後速やかに説明会を開催し募集を開始する。現在、認めていただけるという前提で準備を進めている。それから、学校建設の予算については3月に認めていただいているので、施工を進めて良いということになっている。この点も計画通り進めさせていただきたいと思っている。

○教 育 委 員 井口にこのような学校ができるということを、地域の方々、保護者の方々にしっかり説明して、その話が子どもたちにも分かるような流れがあると良いと思う。子どもたちがこんな学校に行ってみたいと思えるように。細かな部分は継続していく中で改善していけば良いと思うが、初年度は丁寧に周知して進めていっていただきたい。

○事 務 局 承認をいただき次第、力を入れて進めていく。

○教 育 委 員 他の学校への影響を配慮した上で進めていっていただきたい。また、特認校はどのような学校でどのように動いていくかということを、井口の人によくご存じだと思うが、多くの市民はよく分からないと思う。知っていただいて、井口の学校を応援したいと思えて、納得いただけるようなかたちを追求していただきたい。

○教 育 委 員 先ほども話に挙がったとおり、説明会を1箇所だけでなく他でもするべき。それから、説明会で配られる資料を実際読んだが、大変分かりやすい。どんな学校をつくりたいのかがよく分かる。その資料を多くの市民の方々の目に届くようにしていただきたい。

○教 育 長 精一杯進めていく。実際進んでいく中で修正しなければならないことも出てくると思うが、一番良い方法で取り組んでいきたい。

#### **協議事項（８）関係**

○教 育 委 員 南砺市ひとり親世帯臨時特別給付金は、申請を受けて給付するのか、それともあらかじめ対象者を把握していて給付するのか。

○事 務 局 19ページ2の表の対象者①の方々は既に把握しているので申請は不要。②、③の方々は全て把握できていないので申請が必要。

○教 育 委 員 このような制度があることを周知するべき。①の方々は自動的に給付されて良いが、②、③の方々に対してはどのようなかたちで周知されるのか。

○事 務 局 ひとり親でこども課において把握している方々については、毎年8月に面談をする機会がある。その時に説明する。

○教 育 委 員 良い制度なので、ぜひ多くの困っている方々、親御さんや家庭に届くようお願いしたい。

○事 務 局 国でも新聞等で周知している。南砺市でもホームページや広報誌で周知している。

○教 育 長 国の広報に頼るだけでなく、8月の面談の時に確実に伝えるようにする。

#### **協議事項（12）関係**

○教 育 委 員 大きい予算がかかるので、ぜひ成功させていただきたい。全国的には、山村留学は人気があるのか。ニーズは高いのか。利賀ではキャンプなどを行っているが、1年間に10名来てくれるという見通しはあるのか。また、山村留学を実施している他の地域では毎年何名の募集があるか、行きたくても行けない子供がいるか、どういう状況か、そのような情報を知りたい。

○事 務 局 全国で山村留学を展開している育てる会と一緒に進めているが、一定のニーズはあると聞いている。南砺市は目標を10名として進めていきたいと思っている。しかし応募があっても、1年間の山村留学に耐えられるかどうかを面接で判断し、決定から外れるということもある。

○教 育 委 員 山村留学を始めても何年か経てば辞めてしまった地域もあると思う。続かなくなった地域があるとしたら、それはなぜか。南砺市としても実施しているところの情報を集めていただきたい。続かなかつたところ、続いているところの情報収集をして、上手く進めていただきたい。

○事 務 局 いくつか続かなかつた事例を聞いている。学校統合でやむな

くやめたとか、1年間民家だけで子どもを預かることが非常に負担が大きく続かなかったという事例は聞いている。南砺市では20日間を生活拠点施設、10日間を民家という生活サイクルで進めていく予定だが、これが一番持続できるやり方だと聞いている。

#### **報告事項（1）関係**

○教 育 委 員 員 計画を拝見し、各学校一生懸命実施されているのが分かる。計画を見ていて思うのが、ローカルな部分に重きを置いている計画が大変多いこと。ローカルだけではなくグローバルな部分での取り組みも実施してほしい。それから、南砺市としてのまちづくりや取り組みなど、いわば南砺市の特色を学ぶこと。例えば南砺市の協働まちづくり条例などもあるわけだが、そのようなことも学ぶ機会があれば良いと思う。既に取り組んでいる学校もあるが、広がりを見せてくれればより良いと思う。

○教 育 長 学校に伝えていく。

#### **報告事項（6）関係**

○教 育 委 員 員 中央図書館があり、各地域にも図書館があるわけだが、今後どのように運営していくつもりか。実は庁舎が統合されてから、そのあとに何を造るかという話をしているが、図書館を含めたものを造りたいという話がある。南砺市としては図書館全体をどのようなかたちで運営していこうと考えているのか。そのあたりは図書館協議会でも協議しているという話も聞くが、教育委員会ではまだ話がない。全体的な各図書館の運営方針を示してほしい。

○事 務 局 このことについては公共施設再編の問題とも関わってくる。図書館は1つにするのではなく、各地域に残していく方向で進めていきたいと考えている。また、庁舎のあとに複合施設ができる場合は、その複合施設の中に入居というかたちも考えている。ここまでは行政内部で協議している。そして今年、公共施設再編でどの施設を残すか、来年の3月までに整理される。担当課が公共施設再編のアンケートを取ったりしながら、どの施設を残すかという計画策定を進めようとしているので、いつかの時点で教育委員さんにもご意見を聞く機会を作りたいと思っている。

#### **その他（1）関係**

○教 育 委 員 員 今回初めて保育園を訪問した。今までは卒園式や入園式で中に入ったことはあるが、子どもたちが日常的に活動、生活しているところは実際に初めて見た。コロナ対策においては、保護者が来園しても中には入れないようにし、子どもの送迎の際も玄



関先での対応をしていた。そのようなことを徹底し、子どもの安全にしっかり配慮していて非常に素晴らしいと思った。小学校、中学校では密にならないように徹底していた。例えば、美術の時間は1クラスを2クラスに分けて、両方で授業を行い先生が移動しながら実技を指導したり、理科の授業も同様に2クラスに分けて、1つのクラスは実験、もう1つのクラスはプリント学習をしたりと、対策をしっかり取っていた。一方で、今年度からチーム担任制が始まったこともあり、2クラスが一緒になったり2学年が一緒になったりして授業をしている学校もある。確かに2学年集まっても少数にしかならない学校もあるが、結構な人数になる学校もある。チーム担任制がカリキュラムとして組んであるため、先生方の一存だけでは2つに分けての授業はしづらいこともあると思う。だから実態を把握していただいて、あまりに密になっているようだったら、別々にやるように是非指導していただきたい。

○事務 局 教育委員会としては、チーム担任制は始まったがやはりコロナ対策が優先であり、そのことは学校に対して伝えている。しかし密となっている場合もあるならば、優先すべきはチーム担任制ではなくコロナ対策だということを、もう一度学校に向けて通知する。

○教育 委員 ある小学校では、コロナ対策で距離を取ることで学校の構造上、生徒が太い柱に隠れているところがあり気になった。それから、大きい声で話すと隣のクラスと声が混ざることもあり、先生もあまり大きな声で話せず何を話しているか分からない場面もあった。子どもたちも聞こえていない可能性もある。対策、支援を考えてあげてほしい。ある中学校では全員がフェイスシールドをつけて、マイクを使用していた。きちんと隅から隅まで声が聞こえて、素晴らしいと思い感動した。他の中学校は、半分はパソコンの授業、半分は技術の授業をして、スカイプで繋げていた。何かあったら先生を呼ぶかたちを取っていた。学校の中だけで使えるスカイプのようなツールがたくさんあるので、もし使えるのならば先生の手間も省けるので、手段の1つとして良いのではないかと思った。

○教育 委員 密にならないように離れて座ると教室に入りきらなかったり、モニターで授業されているが、後ろの席からだが見えない人もいるような気がした。後ろに座っている生徒がうつむいているような姿も見受けられたので、モニターが2つあれば良いと思った。それから、これから暑くなると、コロナ対策ももちろん熱中症が心配になる。学校側の意見として、氷の製氷機が

あれば良いということも聞かれた。保育園については、コロナで大変な最中からずっと先生方がご苦労されている様子が伺えて、大変な中皆さんに頑張っていたいていたことを感じ感動した。

○教 育 委 員 基本的には小学校、中学校、保育園とも非常にコロナ対策に努力しておられる。小学校だと例えば座席を広げたり、給食の当番を少なくして配膳をする中で接触することを防いだりしていた。それから、色んな行事が中止になったり延期になったりしたが、代替の行事を考えておられるということで、保護者の方々とはむしろ相談する機会が増えて心の距離は近づいた気がするという声も聞かれた。学校が始まってからは欠席者ゼロが続いており、子どもたちが学校を楽しんでいることも感じた。保護者からの苦情もないそう。

また、中学校では各教科の専門家が多いので、余裕があれば、例えば国語だったら感染症を題材にした小説を使って授業をしたり、社会だったらこの時代にこんな感染症があつてどういう対応をしてきたか、どのように乗り越えたかということをお教えしたりしてほしい。ウイルスのことについて、専門的なことを教えてあげられたら、子どもたちの学びにもなるのではないか。

それから保育園では、保護者は施設内に入らないように徹底していて素晴らしかった。ある保育園でも、移住者が増えてきて様々な考え方をもった保護者が増えている中で、大変な最中でも職員間の会話や保護者との会話ができるようになっていて、人間関係を見直すということで、良くなったように感じる。

○教 育 委 員 現在学校では、先生が説明してノートを取らせて、なるべく話し合いをしない授業になっているが、このような授業が続いていくと、きっと授業に興味を示さない子どもや授業を抜ける子どもたちが出てくるような気がする。なおかつ、本来であれば色んな行事があつて息が抜けるのに、中止になってしまっている。そのような状況の中で是非意識してほしいことが、授業の中での子どもへの声かけや関わり方。子どもの立場になって、特に理解が遅い子どもに対して積極的に声かけしていただき、子どもたちのケアをするという意識をもって取り組んでいただきたい。

また、ある中学校ではグループ学習は行わないとしていたが、他の学校では距離を取りながら隣の人と話し合ったり、グループで意見交換したりしているので、それぞれの判断で、なるべくそのような機会を設けていただきたい。

○教 育 長 学校にしっかりと指導していく。  
午後4時10分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。

令和2年 月 日

南砺市教育委員会  
教育長